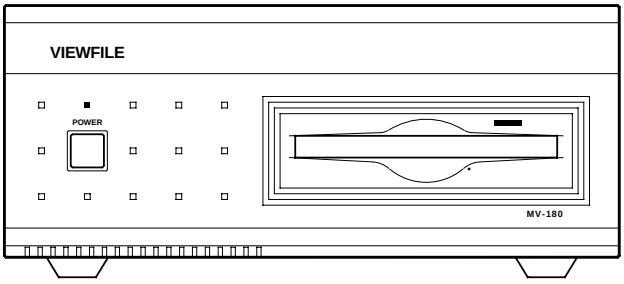
TEAC

VIEWFILE

MV-180

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。



ティアック株式会社

2003年4月　D005452-50E

絵表示の例

	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■ 異常が起きたら

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して弊社サービス部門に修理をご依頼ください。

■ カバーを開けない

この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は弊社サービス部門にご依頼ください。この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 内部に異物や水などを入れない

この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。また、花びんや水などの入った容器をこの機器の上に置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。火災・感電の原因となります。

■ 仕様の電源電圧以外の電圧で使用しない

仕様の電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ 適さない設置場所

次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所
- 直射日光があたる場所

■ 通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

■ 長期間ご使用にならないときは

長期間この機器をご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

ご使用の前に

製品構成

MV-180 本体	1台
リモートコントロールユニット	1台
BNC ケーブル	2
S-VIDEO ケーブル	2
RGB ケーブル	2
光磁気ディスク（OM-640）	1
MODE スイッチ表示ラベル	1
リモコン日本語表示ラベル	1
電源ケーブル	1
3P-2P 変換コネクタ	1
取扱説明書（本書）	1

おことわり

本書では 3.5 インチ光磁気ディスク（Magneto-Optical disk）を「**ディスク**」と略称します。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

●本書に記載の各会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

●本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。

使用環境・設置場所について

●安全のため、かつ確実な動作のために下記の環境のもとでご使用ください。

動作温度：5～35℃
動作湿度：30～80％（非結露）

●通風孔をふさがないでください。
本機のフロントパネルおよびリアパネルには、内部を冷却するための通風孔があります。壁などに密着させたりして、これらをふさがないでください。ふさぐと動作不良・性能劣化・故障の原因となります。

●本機はゴム足を下にして水平に置いてください。

●つぎのような場所での使用は避けてください。

- 急激な温度変化のあるところ
- 直射日光があたるところ
- 振動のあるところ
- 熱源の近く
- 湿度の高いところ
- ほこりや油煙があるところ
- 引火性のガスのあるところ
- 高周波を発生する機器の近く

目 次

1. はじめに

使用上の注意 1
特長 2
記録した画像の管理方法 3

2. 各部の名称と機能

フロントパネル 4
リアパネル 5
リモートコントロールユニット 6

3. 電源を入れる前の準備

接続する 7
MODE スイッチを設定する 9
ターミネータスイッチを設定する 9

4. 使ってみましょう

基本的な操作フロー 10
電源を入れる 11
ディスクを入れる 11
フォーマットする 12
記録してみる 13
再生してみる 15
ディスクを交換する 16
電源を切る 16

5. 記録する

圧縮モードを設定する 17
入力信号を選ぶ 17
記録する 18

6. 再生する 19

ID サーチ 20
日付サーチ 21
インデックス再生 22
画像をコマ送りする 23

7. 記録のとき便利な機能

動画の 1 フレームを止めて見る 24
直前にとった画像を見る 24
圧縮モードを切り換える 25
入力信号を切り換える 25

8. 再生のとき便利な機能

再生中の画像を削除する 26
再生中の画像の ID を変更する 26

9. 知っていると便利です

ディスクに ID をつける 27
ディスクを消去する（再フォーマット）..... 27
内蔵時計を修正する 28
リモコン液晶のコントラストを調整する 28
リモコンのブザーを止める 29
ソフトウエアのバージョンを知る 29
アイドル時に入力画像を映す 29

10. メンテナンスと保証

点検のすすめ 30
ディスクとレンズのクリーニング 30
故障かなと思ったら 30
エラー（ERROR）表示が出たら 31
保証について 31

付録

仕様 32
別売品 32
画像圧縮について 33
弊社の他の機種との互換性 33
コネクタのピン配列 34

1. はじめに

使用上の注意

● 指定のディスクをご使用ください。

本機で使用できるディスクを指定しています。指定以外のディスクを使用した場合は記録・再生が正常にできないことがあります。

指定ディスク：

ティアック製　OM-640（未フォーマット）
　　OM-230CF（フォーマット済）
　　OM-128CF（フォーマット済）
三菱化学製　640MB、230MB、128MB タイプ
　　（未フォーマット）

● 大事なディスクは書き込み禁止に

ディスクには書き込み動作を禁止する機能があります。大事なディスクは**ライトプロテクトタブ**を下図のように開いて、書き込みできないようにしてください。

注 意 ： ディスクをパソコンに挿入する時は書き込み禁止に

本機で記録したディスクをパソコンで利用するときは、挿入する前にディスクのライトプロテクトタブを開いて、書き込みできないようにしてください。

パソコンで書き込みや消去をしたディスクは、本機で再生できなくなります。パソコンによっては、ディスクを挿入しただけで自動的に管理情報を書き込むものがありますのでご注意ください。

● 移動するときはディスクを取り出してください。

ディスクを挿入したまま本機を持ち運ぶと故障の原因になります。ディスクを取り出してから移動してください。

● 規格に合った信号を入力してください。

テレビジョン信号規格に基づいた信号を入力してください。VTR 等の特殊再生信号や、簡易同期信号を用いた機器の出力信号は録画・再生が正常にできないことがあります。

● 内蔵電池は 5 年で交換してください。

本機は内蔵の時計を動かすための電池をもっています。この電池が切れて時計が**くるう**と、画像データの管理が正常にできなくなります。寿命が来る前に 5 年ごとに交換することをおすすめします。交換はお客様にはできませんので、弊社サービス部門にご依頼ください。

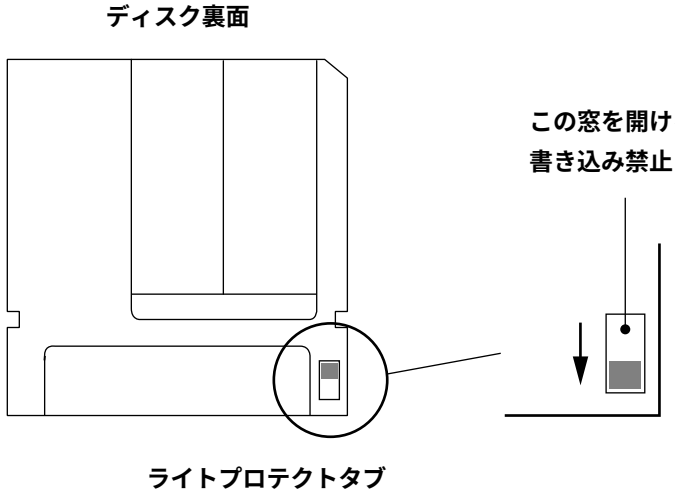
● 付属のリモコンをご使用ください。

弊社 MV シリーズの他の機器に付属のリモコンを本機につないで使用しないでください。付属のものと同じ VS-420 型でも、他の機器のものは一部の機能が使えなかったり、誤動作の原因になったりします。

◎ 付属のリモコンであることを確かめるには

リモコンの裏の製品品番が下と同じであること、またはハイフン（―）までが同じでハイフンに続く数字が「40」より大きいこと。

E005152-40A



特　長

本機は3.5インチ光磁気ディスクを媒体として、テレビジョン信号のカラー静止画像（または動画の１コマ）を記録・再生する装置です。画像圧縮技術JPEGを採用し、最大で約10,000枚の画像を記録することができます。

■ 記録画像が劣化しません。

ディジタル方式で記録しますので、何度再生しても記録されている画像は劣化しません。

■ ３種類の信号を入力できます。

RGB・コンポジット(VIDEO)・S-VIDEOの３種類の入力信号に対応しています。（ただし、VIDEOとS-VIDEOを同時に入力して切り換えて使うことはできません。）

■ ４種類の圧縮モードを選べます。

大容量／標準／準高画質／高画質の４種類の圧縮モードがあります。下表を参照ください。

■ 便利なデータ管理情報を付加します。

画像データにつぎのような情報を付け加えて記録します。これらの情報を手がかりにして画像をすばやく検索することができます。

- 日付：　記録した年月日
- ID：　10けたの英数字
- 検査番号：検査ごとにふられる番号
- 追番：　１回の検査の中で何枚目かを示す数字

■ インデックス表示ができます。

１つの画面に16枚の画像を表示して、その中から拡大したい画像を選ぶことができます。

■ そのままパソコンで表示できます。

画像データをDOSフォーマットで記録しますので、ディスクをパソコンのMOドライブに入れて読み込めます。

■ パソコンで歪みなく表示できます。

画素が正方形になるように記録しますので、画像データをパソコンで表示したときに歪みがありません。

■ ３種類の信号を出力できます。

RGB・コンポジット(VIDEO)・S-VIDEOの３種類の信号を同時に出力します。

■ パソコンでコントロールできます。

RS-232CとRS-422Aの２つのインタフェースを装備しています。

■ 弊社の従来機でとった画像を再生できます。

弊社の他の機種で記録した画像を再生することができます。(p. 33)

■ 画像データを消去して再び記録できます。

再フォーマットすることによりディスク上のデータをすべて消去し、そこに再び記録することができます。
※平均書き換え回数は約100万回です。

■ その他の便利な機能

- 画像を１枚ずつ順に再生できます。
- 記録順に自動的にコマ送りできます。
- 動画の１コマを止めて見ることができます。
- ディスク１枚ずつにIDをつけられます。

圧縮モードと記録枚数

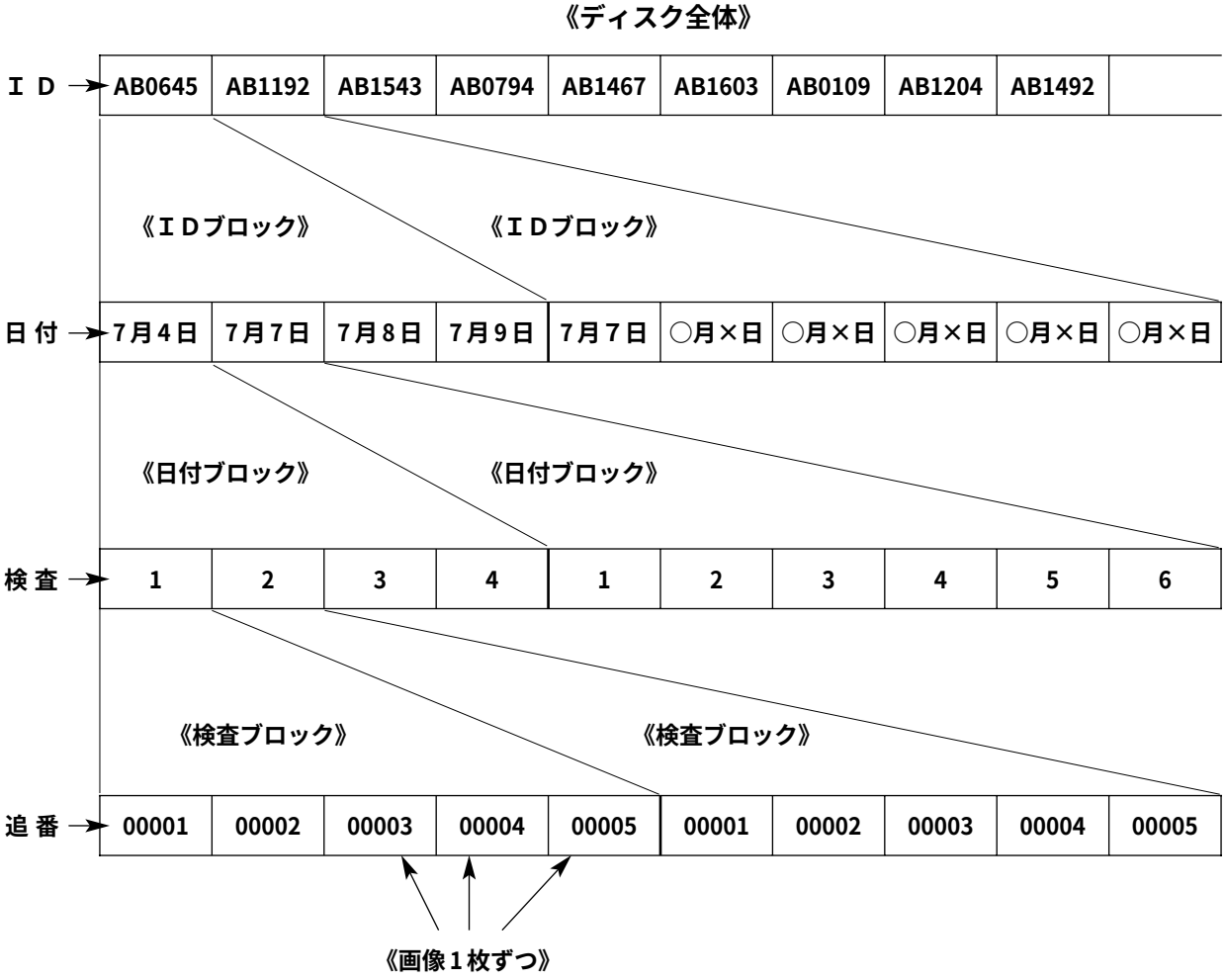
圧縮モード	記録枚数		非圧縮画像との比較	平均圧縮率（参考）
	640MBの場合	230MBの場合		
大容量	約10,000枚	約4,000枚	区別はつくが差は小	1/20
標準	約5,000枚	約2,000枚	区別はやや困難	1/10
準高画質	約2,500枚	約1,000枚	区別は困難	1/5
高画質	約1,500枚	約600枚	区別は困難	1/3

※ 本表の圧縮率・記録枚数は参考値です。実際の圧縮率は記録する画像の内容により変化し、したがって記録枚数も変わります。

記録した画像の管理方法

記録した画像データは付加された情報（ID・日付・検査番号・追番）に基づいて下図の例のように管理されます。この構造はそのままディスクのディレクトリツリーになります。

下図の例では「AB0645」というIDをもつ患者が7月4日から9日までに4回来院し、7月4日には4つの検査をして、最初の検査では5つの画像を記録しています。



● ＩＤ

10けたまでの英数字を入力することができます。

● 日付

記録した日付と時刻が記録されます。

● 検査

録画準備＊1にしてから一連の画像を記録してアイドル＊2に戻るまでを「検査」と定義します。1から始まる番号が検査ごとにふられます。

＊1：あとはRECキーを押すだけで記録できるという記録待機状態。

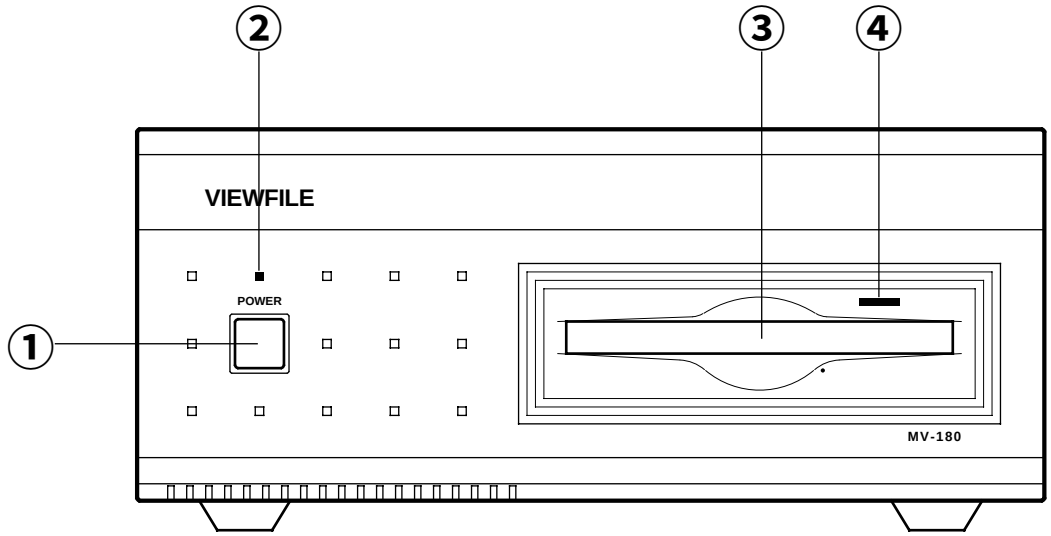
＊2：電源を入れ、ディスクを入れただけの指示待ちの状態。記録・再生の共通のスタート点。

● 追番

RECキーを押すたびに画像1枚ずつにふられる番号。ひとつの検査の中で1から始まり最大99までです。この番号に拡張子「JPG」をつけたものが画像ファイルのファイル名になります。

2. 各部の名称と機能

フロントパネル



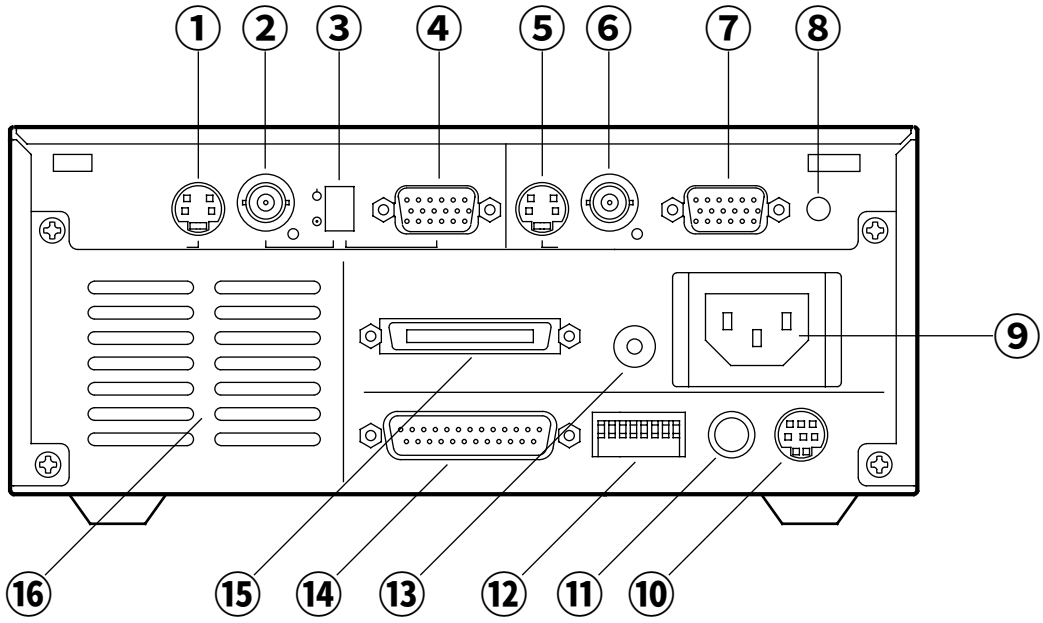
① **POWER スイッチ**
押すと電源が入ります。もう一度押すと切れます。

② **POWER LED**
電源を入れると点灯します。

③ **ディスク挿入口**

④ **ディスクドライブ LED ／イジェクトキー**
LED とキーをかねています。LED はドライブの動作中に点灯し、イジェクトするときに点滅します。
ディスクを取り出すときはこのキーを押します。録画準備中とドライブの動作中は押してもイジェクトしません。

リアパネル



① S-VIDEO 入力端子（DIN）

② VIDEO 入力端子（BNC）

③ ターミネータスイッチ
VIDEO、RGB 入力を 75 Ω抵抗で終端するかどうかを設定するスイッチです。

④ RGB 入力端子（D-Sub 15 ピン）

⑤ S-VIDEO 出力端子（DIN）

⑥ VIDEO 出力端子（BNC）

⑦ RGB 出力端子（D-Sub 15 ピン）

⑧ 出力レベル調整つまみ
再生出力のレベルを調整するつまみです。モニター装置側で入力を本機と他の機器とで切り換えたときに画面の輝度が変わる場合に調整してください。S-VIDEO/ VIDEO/RGB の 3 つの出力レベルを同時に約± 10 %調整できます。（ただし同期信号のレベルは変わりません。）通常はセンタークリック位置でご使用ください。

⑨ 電源端子

⑩ SERIAL 2 端子
リモコンを接続します。このコネクタのコントロール信号線は RS-422A 規格に準拠しています。

⑪ 外部スイッチ用ジャック
別売のフットスイッチなどを接続します。

⑫ MODE スイッチ
各種の設定をするためのスイッチです。

⑬ 接地端子

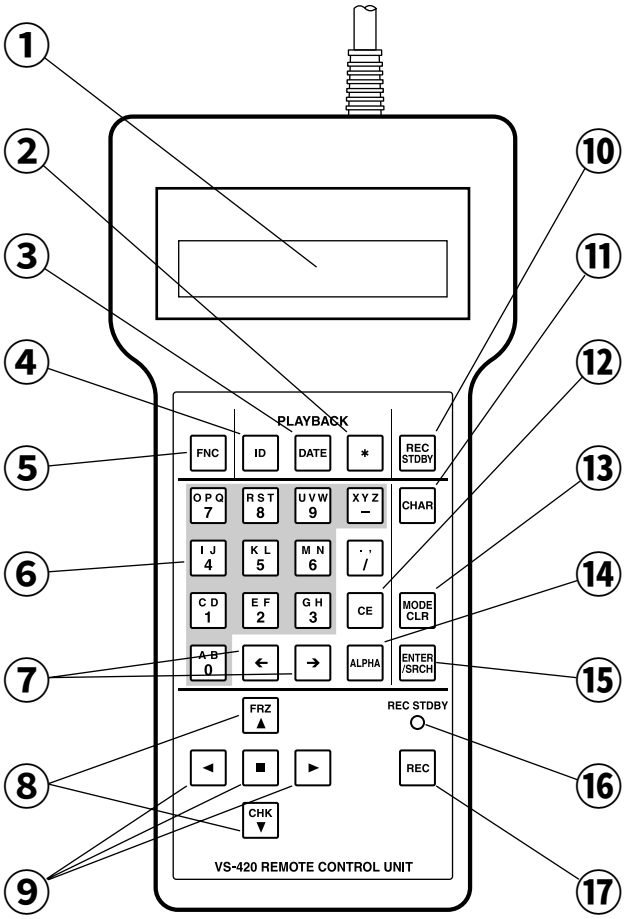
⑭ SERIAL 1 端子
パソコンから RS-232C をとおして本機をコントロールするときに使います。

⑮ PARALLEL 端子
オプション機器を接続するためのコネクタです。

⑯ 冷却ファン
本体を冷却するためのファンです。吹き出し口をふさがないでください。

リモートコントロールユニット

記録・サーチ・再生の操作と設定はリモコンで行います。ここでは略して簡単に説明します。以降の章で機能別に詳しく説明します。



① **インジケータ**
動作状態や入力した英数字を表示します。

② **＊キー**
インデックス表示（16分割）するときに押します。

③ **DATE（日付）キー**
日付でサーチするときに押します。

④ **ＩＤキー**
ＩＤでサーチするときに押します。

⑤ **FNC（機能）キー**
各種の設定をするときに押します。

⑥ **英数字キー**
アルファベット／数字を入力するときに押します。

⑦ **カーソルキー**
英数字を入力するときにカーソルを動かします。

⑧ **▲(FRZ)／▼(CHK)キー**
モニター画面の中でカーソルを上下に動かします。▲(FRZ)キーは動画の１コマを止めるときに押します。▼(CHK)キーは直前に記録した画像を再生します。

⑨ **◀／■／▶ キー**
画像をコマ送りしたり自動コマ送りを止めたりします。

⑩ **REC STDBY（録画準備）キー**
このキーを押し、IDを入力後、ENTER/SRCHキーを押すと録画準備になります。

⑪ **CHAR（文字表示）キー**
モニターに文字情報を表示するか、表示しないかを切り換えます。

⑫ **CEキー**
液晶表示の中でカーソルがある項目をクリアします。

⑬ **MODE CLR（終了）キー**
アイドル状態に戻ります。

⑭ **ALPHA（英字）キー**
アルファベット入力／数字入力を切り換えます。

⑮ **ENTER/SRCH（確定／開始）キー**
入力を確定し、つぎの動作を実行します。

⑯ **REC STDBY（録画準備）LED**
録画準備にすると点灯します。

⑰ **REC（録画）キー**
録画準備中に押すと記録します。

3. 電源を入れる前の準備

この章では電源を入れる前に行う接続と設定について説明します。ここで説明する接続・設定が終わるまでは電源を入れないでください。

接続する

接続するのは、入力、出力、リモコン、電源、アースです。

■ 入力ケーブルを接続する

本機はS-VIDEO入力端子、VIDEO入力端子、RGB入力端子の３つの入力端子をもちます。それぞれの端子に入力ケーブルをつないでください。

【おことわり】
S-VIDEOとVIDEOを同時に入力して切り換えて使うことはできません。VIDEO信号を選択するためにはS-VIDEO信号を接続しないか、接続してあっても信号を断つことが必要です。

● RGB入力ケーブルを接続するときは

本機に入力できるRGB信号は、毎秒30フレーム、水平走査線数525本のインターレース方式に限られます。RGB信号にはつぎの２つの方式があります。

- ５線式：RGB信号＋HD＋VD
- ４線式：RGB信号＋SYNC

接続する入力機器が５線式か４線式かを確かめて、付属のRGBケーブルについているBNCコネクタのうち必要なものをつないでください。

【HD、VD信号の極性】

接続する機器が５線式の場合、通常はHD、VD信号ともに負極性で送出されていますが、まれに正極性で送出されている機器もあります。正極性で送出されている機器は本機には接続できません。

《RGBの信号の種類とケーブルの色》

信号の種類	ケーブルの色
R	赤
G	緑
B	青
HD	黄
VD	茶
SYNC	白

■ 出力ケーブルを接続する

本機はS-VIDEO出力端子、VIDEO出力端子、RGB出力端子の３つの出力端子をもちます。これらすべてに同時に信号が出力されています。したがって、同時に３台のモニターで画像を見ることができます。

● RGB出力ケーブルを接続するときは

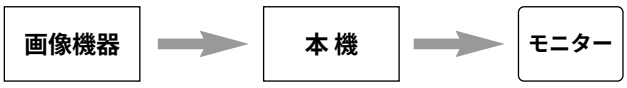
前述のようにRGB信号には５線式と４線式の２つの方式があります。本機のRGB出力はHD、VD、SYNCの各信号を常時出力しています。接続するモニターが５線式か４線式かを確かめて、付属のRGBケーブルについているBNCコネクタのうち必要なものをつないでください。

参考

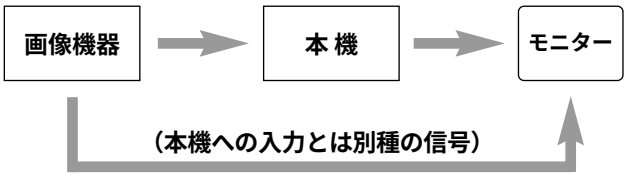
● 電源を切っても画像が見られるようにするには

下図の接続例①では、本機の電源を切るとモニターで入力画像を見ることはできません。そこで接続例②③のようにつなげば、本機の電源を切っても入力画像を見ることができます。
ただし③の場合、本機リアパネルのターミネータスイッチ1, 2番をOFF（上）に設定してください。

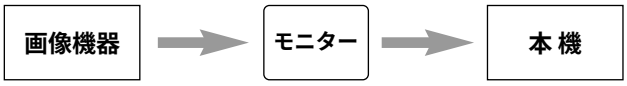
【接続例①】



【接続例②】



【接続例③】



■ リモコンを接続する

⚠ 注意

リモコンのプラグの抜き差しをするときには本体の電源を切ってください。電源を入れたまま抜き差しすると本体またはリモコンが破損することがあります。

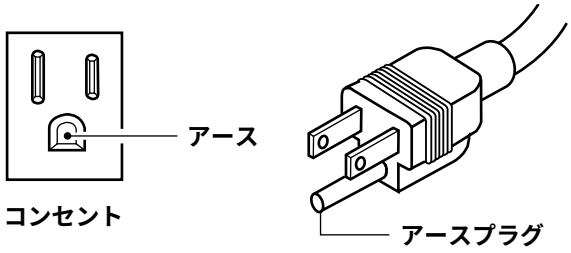
リモコンケーブル先端のプラグを本体リアパネルのSERIAL 2端子に差し込んでください。プラグに ⇑ のマークがあります。このマークのある面が上側です。

■ 電源ケーブルを接続する

⚠ 警告

本機の電源はAC100 V ± 10 %（50/60 Hz）です。それ以外の電源を投入すると火災・感電の原因となります。

電源ケーブルは３芯式です。やむをえず２芯式コンセント（アースなし）からとる場合は、安全のため接地端子を接地してください。

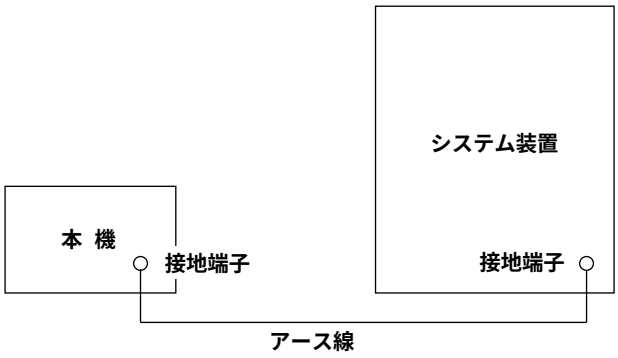


■ アース線を接続する

⚠ 警告

本機の接地端子からのアース線は、システム装置の接地端子以外に接続しないでください。ガス管など他の設備・装置に接続すると、ガス爆発・機器の誤動作・画面ノイズなどの原因となることがあります。

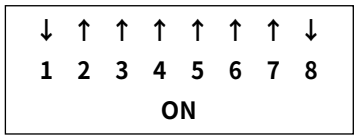
本機をシステムの一部として使用するときは、ノイズ等の影響を防ぐため、システム装置の接地端子と本機の接地端子とをアース線でつないでください。



MODE スイッチを設定する

電源を入れる前に本体リアパネルの MODE スイッチを設定します。このスイッチの設定は電源を入れた直後に１回だけ読み込まれます。電源を入れてからスイッチを切り換えても設定は変わりません。

工場出荷時の設定



スイッチ番号	機　　能	設　　定
1	電源投入時にどの入力信号を選択するかを設定します。＊1	ON ： RGB 入力 OFF ： S-VIDEO または VIDEO 入力＊2
2	外部トリガ入力（SERIAL 1 コネクタ 14 ピン）に対する動作を選択します。	ON ： 静止画を表示 OFF ： 記録
3	アイドル時に本機からの文字情報を表示せずに入力画像を映す機能があります。その機能の設定は電源を入れてからリモコンで行います。このスイッチ 3 はその設定を可能にするか禁止するかを決めます。＊3	ON ： 入力画像を映す機能の設定が可能 OFF ： 入力画像を映す機能の設定は不可能
4	４つの圧縮率のうち、どの３つをリモコンで選択できるようにするかを設定します。	ON ： 高画質／準高画質／標準から選択できる。 OFF ： 準高画質／標準／大容量から選択できる。
5	録画準備・再生中に、文字情報を画面のどこに表示するかを決めます。	ON ： 中央に表示 OFF ： 下に表示
6	眼底タイマー機能を使うか否かを決めます。	ON ： 使う　OFF ：使わない
7	使用しません。	常時 OFF。変更しないでください。
8	SERIAL 1 端子と SERIAL 2 端子のどちらで通信するかを決めます。	ON ： SERIAL 2 端子（RS-422A）で通信する。 リモコンを使うときはこちらに設定します。 OFF ： SERIAL 1 端子（RS-232C）で通信する。

＊1 ： 入力信号の切り換えは電源投入後でもアイドル時と録画準備中に可能です。（p. 17, 25）

＊2 ： S-VIDEO または VIDEO（OFF）を選択したときは、

○VIDEO または S-VIDEO のどちらかに信号が入力されているとき
⇒入力されている信号が選択される。

○VIDEO と S-VIDEO の両方に信号が入力されているとき
⇒ S-VIDEO 信号が優先して選択される。

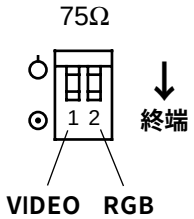
＊3 ： このスイッチが OFF のときは、録画準備にしないとモニターに入力画像が出ません。（p. 29）

モニターの終端スイッチ

ご使用のモニターに入力終端スイッチがあるときは ON に設定してください。

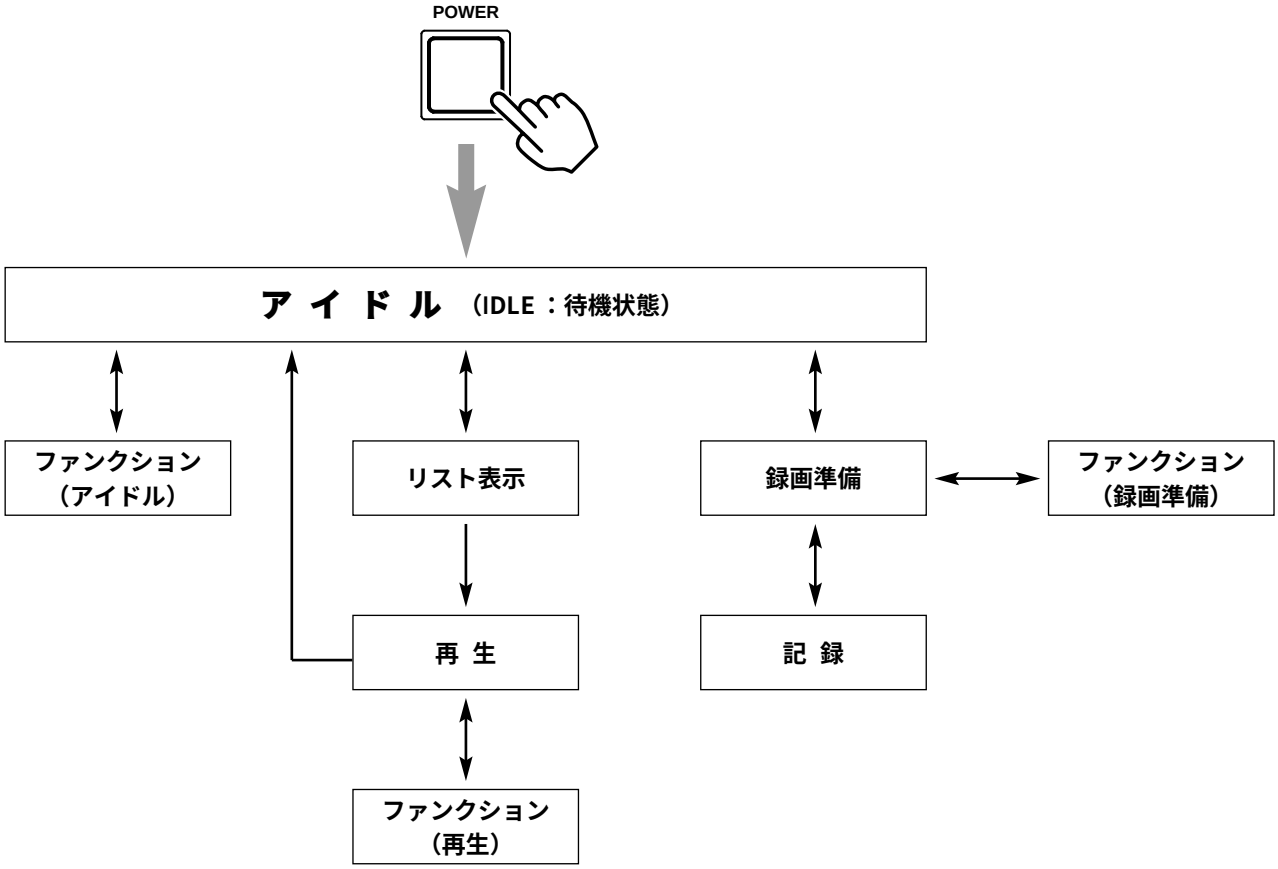
ターミネータスイッチを設定する

リアパネルのターミネータスイッチで VIDEO 入力、RGB 入力を 75 Ω抵抗で終端するかどうかを設定します。終端するにはスイッチを下に倒します。上にすると終端されません。



基本的な操作フロー

この章では最も基本的な操作を説明します。
まず操作のおおざっぱな流れを下図に示します。



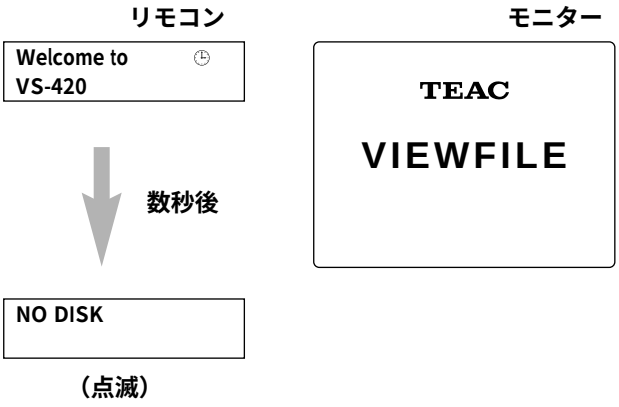
参考 **《ファンクションについて》**

リモコンの FNC キーを押すことによりいろいろな設定・操作ができます。
その時の動作モードにより設定・操作が可能な項目が異なります。
○：可能　　×：不可能　（ ）：詳しい説明があるページ

項　　目	リモコンの表示	アイドル時	再 生 時	録画準備中
圧縮モードの設定	CS setting	○（17）	×	○（25）
自動コマ送りスピードの設定	Interval	○（23）	○（23）	×
ディスクに ID をつける	Disk ID	○（27）	×	×
フォーマットする	Format	○（27）	×	×
時計の修正	Calendar adj	○（28）	×	×
コントラストの設定	Contrast adj	○（28）	×	×
入力信号の切り換え	Input select	○（17）	×	○（25）
ブザーの ON/OFF	Buzzer	○（29）	×	×
アイドル時の入力画像の表示	Character	○（29）	×	×
バージョン表示	Version test	○（29）	×	×
記録済み画像の ID の変更	Rename ID	×	○（26）	×
記録済み画像の削除	Delete	×	○（26）	×

電源を入れる

モニター・画像機器・本機の電源を入れてください。リモコン、モニターにつぎのように表示されます。



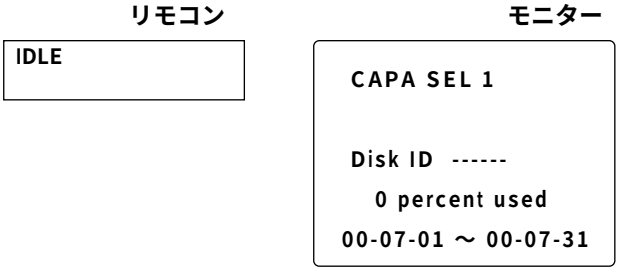
ディスクを入れる

つぎに、指定のディスクをディスク挿入口に入れてください。ディスクの片面に矢印 ⇑ があります。この面を上に、矢印の方向に挿入してください。確実に奥まで押し込むとディスクが少し下がります。

数秒後、リモコン、モニターにディスクによりつぎのように表示されます。

● フォーマット済みのディスクのときは

（付属ディスク OM-640 はフォーマットしてありません。使用前にフォーマットしてください。）

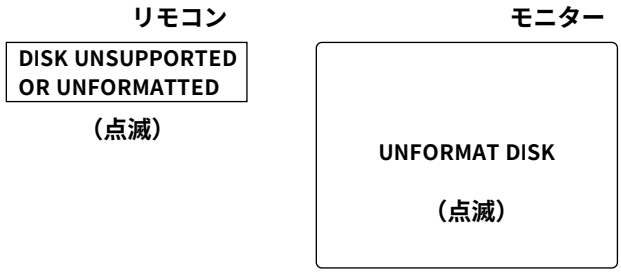


CAPA SEL ：圧縮モード設定
Disk ID ：ディスクID
percent used ：使用済み容量
日付 ：最初と最後の収録日

この状態を**アイドル**とよびます。記録から再生に移るときも、逆に再生から記録に移るときも、いったんこのアイドルに戻らなければなりません。

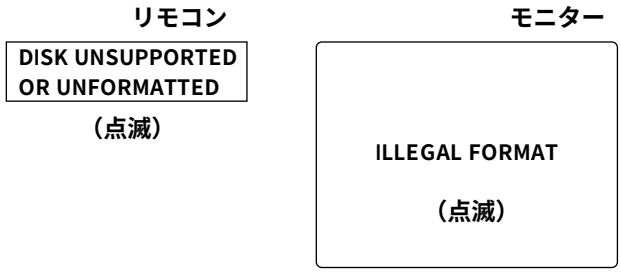
● フォーマットしてないディスクのときは

フォーマット済みディスクと交換するか、フォーマットしてください。



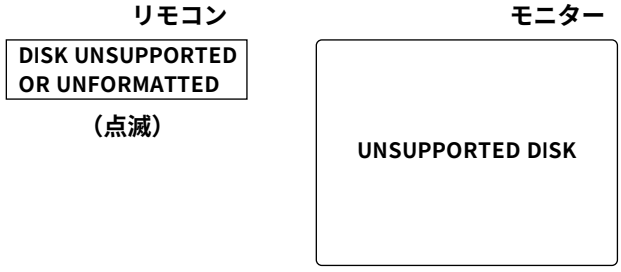
● 異なるフォーマットのディスクのときは

DOS 以外のフォーマットのディスクのときはイジェクトしてください。



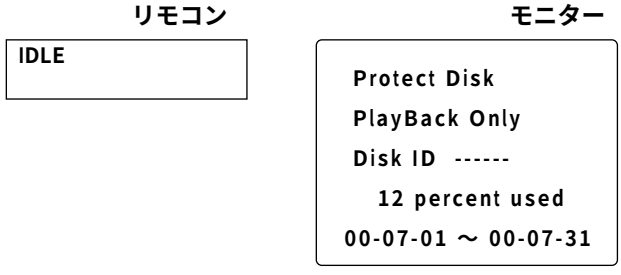
● 白黒専用機で記録したディスクのときは

弊社の白黒専用の機種で記録したディスクは本機では使えません。



● 書き込み禁止にしたディスクのときは

ライトプロテクトタブを書き込み禁止にしたディスクは再生はできますが、記録はできません。



フォーマットする

フォーマットしてないディスクは、まずつぎの手順でフォーマットしてください。

●記録済みのディスクをフォーマットするとディスク内のすべての画像が消えます。ご注意ください。

下の状態から始めます。

リモコン

```
DISK UNSUPPORTED
OR UNFORMATTED
```

モニター

```
UNFORMAT DISK
```

1. FNC キーを押す。

リモコンの表示が下のように変わります。

```
1 : CS setting
2 : Interval
```

（フォーマットを中止するには FNC キーを押します。）

2. 4 キーを押す。

リモコンの表示が下のように変わります。

```
INSERT NEW DISK
REC : start
```

（フォーマットを中止するには FNC キーを押します。）

3. REC キーを２秒間押す。

フォーマットが始まります。
リモコンにフォーマットの進行が表示されます。

リモコン

```
FORMATTING    0%
```

モニター

```
FORMAT
```

フォーマットが終わると自動的にアイドルになります。

記録してみる

画像を記録してみます。**アイドル**状態から始めてください。

リモコン

モニター

1 REC STDBY

ID の入力待ちになります。

IDLE

↓

REC STDBY
ID : _

CAPA SEL 1

Disk ID ------
0 percent used

2 C D 1

英数字キーで **ID** を入力します。

REC STDBY
ID : 1234_

CAPA SEL 1

Disk ID ------
0 percent used

3 ENTER /SRCH

REC STDBY の **LED** が点灯し、入力画像がモニターに出ます。この状態を**録画準備**とよびます。

REC STDBY 1
ID : 1234 -01

REC Standby VIDEO
ID 1234 -01 20001130

4 REC

入力画像を記録します。
記録動作が終わっても**録画準備**のままです。つぎの記録のために追番が１つ増えます。
押すたびに画像が記録されます。

RECORDING 1
ID : 1234 -01

↓

REC STDBY 1
ID : 1234 -02

REC Standby VIDEO
ID 1234 -02 20001130

5 MODE CLR

録画準備が解除され**アイドル**に戻ります。
REC STDBY の **LED** は消え、モニターも**アイドル**状態に戻ります。

IDLE

CAPA SEL 1

Disk ID ------
1 percent used
00-11-30 ～ 00-11-30

■ アルファベットを入力するには

IDを入力するときにリモコンの ALPHA キーを押すと、アルファベットを入力することができます。このときはLCD上段に[A]が表示されます。もう一度このキーを押すと数字入力に戻ります。

●[A]が表示されているときに英数字キーを押すとキーの上半に青で印刷された文字のうち左端の文字が表示されます。続けて同じキーを押すと、そのキーに印刷された次の文字が表示されます。右端の文字が表示されているときにさらに同じキーを押すと、左端の文字に戻ります。
（例：R→S→T→R→…）

●他のキーを押すか、→ キーを押すと、カーソルが右に移動し、表示された文字が確定されます。

●スペースを入力するには文字を入力せずに → キーを押します。

●文字を訂正したいときは ← キーを押すと１文字が消えます。

●すべての文字を消すには CE キーを押します。このキーを押すと数字入力に戻ります。

《例：「TSUJI5」と入力してみる》

1. 前ページの手順１のつぎに ALPHA キーを押す。
2. RST 8 キーを３回押す。
3. → キーを押す。
4. RST 8 キーを２回押す。
5. UVW 9 キーを押す。
6. I J 4 キーを２回押す。
7. → キーを押す。
8. I J 4 キーを押す。
9. ALPHA キーを押す。（数字入力に戻ります。）
10. K L 5 キーを押す。

参考

●アルファベットはIDだけ

アルファベットを入力できるのは画像IDとディスクIDを入力するときだけです。日付を入力するときにはALPHAキーを押してもアルファベットに切り換わりません。また、このときは → キーと ← キーはカーソル移動キーになります。

●スペースについて

スペースの使用はIDの途中に限られます。IDの先頭にスペースを入れ、続けて文字を入力すると、スペースは自動的に削除されます。またスペースだけでIDとすることはできますが、サーチしようとしてもIDがモニターに表示されませんので避けてください。

●IDに使用できない文字

本機で入力するIDは、そのまま画像のファイル名となります。したがって、MS-DOSのファイル名に使用できない文字をIDとして入力することを禁じています。リモコンのキーで言うと、下の文字は使用できません。これらのキーを押しても無効になります。

. （ピリオド）
, （カンマ）
/ （スラッシュ）

再生してみる

記録した画像を再生してみます。**アイドル**状態から始めてください。

リモコン

IDLE

モニター

1 ID

サーチする画像の ID の入力待ちになります。

PLAY BACK
ID : _

CAPA SEL 1

Disk ID ------
1 percent used
00-11-30 ～ 00-12-04

2 C D 1

英数字キーで ID を入力します。

PLAY BACK
ID : 1234_

CAPA SEL 1

Disk ID ------
1 percent used
00-11-30 ～ 00-12-04

3 ENTER /SRCH

指定した ID の画像を記録した日付がリストされます。

DATE LIST (ID)
1. 00-11-30 4

ID 1234 1/1
→ 1. 00-11-30 4
2. 00-12-02 3
3. 00-12-04 2

4 C D 1

英数字キーで希望の日付の行の番号を入力します。
再生画像がモニターに表示されます。

PB 00-11-30
ID : 1234 -01

ID 1234 1
00-11-30 13:46 00001

5 ▶

押すたびに つぎに記録した画像が再生されます。
◀ キーを押すと前の画像に戻ります。

PB 00-11-30
ID : 1234 -02

ID 1234 1
00-11-30 13:46 00002

6 MODE CLR

モニターの再生画像が消え、**アイドル**に戻ります。

IDLE

ディスクを交換する

ディスクを交換する手順を説明します。

1. イジェクトキーを押します。

ディスクが出ますので取り出してください。
（録画準備中とドライブの動作中は押してもイジェクトできません。）

2. MODE CLR キーを押します。

モニターとリモコンの表示が“ NO DISK ”になります。

3. つぎのディスクを入れます。

注 意

MODE CLR キーはつぎのディスクを入れる前に押してください。つぎのディスクを入れてから押すと、前のディスクの情報が後のディスクに書き込まれることがあります。その場合 後のディスクを再生できなくなります。

電源を切る

注 意

- 移動するときは電源を切る前にディスクを取り出してください。ディスクを挿入したまま本機を持ち運ぶと故障の原因になります。
- 電源を切るときはアイドル状態にしてから切ってください。もし記録動作中に電源を切るとディスク上のデータが破壊され、そのディスクが使えなくなることがあります。

電源の切り方を説明します。

1. リモコンの表示が“ IDLE ”であることを確認します。

2. “ IDLE ”でなければ MODE CLR キーを押します。

3. 本体を持ち運ぶときはイジェクトキーを押します。

ディスクが出ますので取り出してください。

4. 電源スイッチを押します。

これで電源が切れます。

5. 記録する

この章では記録前の設定と、記録の手順を説明します。記録前に最低限 設定するべき項目は圧縮モードと入力信号の種類です。

圧縮モードを設定する

大容量・標準・準高画質・高画質の４つから選択します。この設定はリモコンのメモリに記憶され、電源を切っても保持されます。

1. アイドル状態で [FNC] キーを押す。

リモコンの表示が下のように変わります。
この画面を**ファンクションメニュー**とよびます。

```
1 : CS setting
2 : Interval
```

（設定を中止するには [FNC] キーを押します。）

2. [1] キーを押す。※注意↓

リモコンの表示が下のように変わります。

```
                CS = 1
ENT : set / memorize
```

（CS ： Capacity Select の略）

3. [0] ／ [1] ／ [2] キーを押す。

希望するモードに対応する数字を入力します。

MODE スイッチの４番が

OFF のとき		ON のとき	
大容量	：0	標準	：0
標準	：1	準高画質	：1
準高画質	：2	高画質	：2

4. [ENTER /SRCH] キーを押す。

設定がリモコンのメモリに記憶され、アイドルに戻ります。設定値は録画準備中にリモコン画面の右上に表示されます。

```
REC STDBY      1
ID : 1234     -01
```

☞ ワンポイント

[FNC] キーを押してから [FRZ ▲] または [CHK ▼] キーを押すと、リモコン画面をスクロールして各ファンクション項目を見ることができます。

入力信号を選ぶ

RGB または［VIDEO ／ S-VIDEO］のどちらかを選択します。電源を入れた直後は本体リアパネルの MODE スイッチ１番の設定になります。ここでの設定は電源を投入後それを変更したいときのものです。したがって変更しないときにはこの設定をする必要はありません。

1. アイドル状態で [FNC] キーを押す。

リモコンの表示が下のように変わります。

```
1 : CS setting
2 : Interval
```

（設定を中止するには [FNC] キーを押します。）

2. [7] キーを押す。

リモコンの表示が下のように変わります。

```
1 : RGB          [0]
0 : Video  ENT : set
```

3. [0] ／ [1] キーを押す。

希望する入力信号に対応する数字を入力します。

VIDEO または S-VIDEO ：0
RGB ：1

●VIDEO または S-VIDEO（0）を選択したときは、
○VIDEO または S-VIDEO のどちらか一方に信号が入力されているとき⇒入力されている信号が選択される。
○VIDEO と S-VIDEO の両方に信号が入力されているとき⇒ S-VIDEO 信号が優先して選択される。

4. [ENTER /SRCH] キーを押す。

設定が終わり、アイドルに戻ります。設定値は録画準備中にモニターに表示されます。

記録する

録画準備にすると [REC] キーを押すたびに同じ ID で追番が異なる画像が記録できます。追番は 1 から始まり 99 までです。異なる ID で記録したいときは [MODE CLR] キーを押していったんアイドルに戻り、ID を入力してください。

1. リモコンの表示が " IDLE " であることを確認する。

2. " IDLE " でなければ [MODE CLR] キーを押す。

3. [REC STDBY] キーを押す。

リモコンの表示が下のように変わります。

```
REC STDBY
ID : _
```

4. 英数字キーで ID を入力する。

5. [ENTER /SRCH] キーを押す。

ID が確定します。REC STDBY の LED が点灯し、入力画像がモニターに出ます。

リモコン

```
REC STDBY      1
ID : TEAC123456-01
```

モニター


```
REC Standby VIDEO
ID TEAC123456-01  20001130
```

6. [REC] キーを押す。

REC STDBY LED が明るく光ります。数秒後 明るさは元に戻り、追番が１つ増えます。

以後 [REC] キーを押すたびに画像が記録されます。

```
RECORDING      1
ID : TEAC123456-01
```

↓

```
REC STDBY      1
ID : TEAC123456-02
```



```
REC Standby VIDEO
ID TEAC123456-02  20001130
```

記録を終了するには

7. [MODE CLR] キーを押す。

録画準備が解除されアイドルに戻ります。

REC STDBY の LED は消え、モニターもアイドル状態に戻ります。

参考

●追番が 99 になると

追番が 99 になると、「SUFFIX FULL」の表示がリモコンとモニターに出て、[REC] キーは受け付けられなくなります。

このときはいったん [MODE CLR] キーを押してアイドルに戻ってください。つぎに同じ ID で記録することはできますが、検査ブロックは別になります。

●ディスクがいっぱいになると

ディスクの残量がなくなりこれ以上記録できなくなると、録画準備中のモニターに「DISK FULL」の表示が出て [REC] キーは受け付けられなくなります。

●動画をとったときにチラつくことがあります。

動画の１コマを記録した場合、再生すると画像がチラチラと動いていることがありますが、これは故障ではありません。

●文字情報は記録しません。

録画準備にするとモニターには入力画像と文字情報（ID、日付など）を表示しますが、文字情報は記録しません。記録するのは入力画像だけです。

☞ ワンポイント

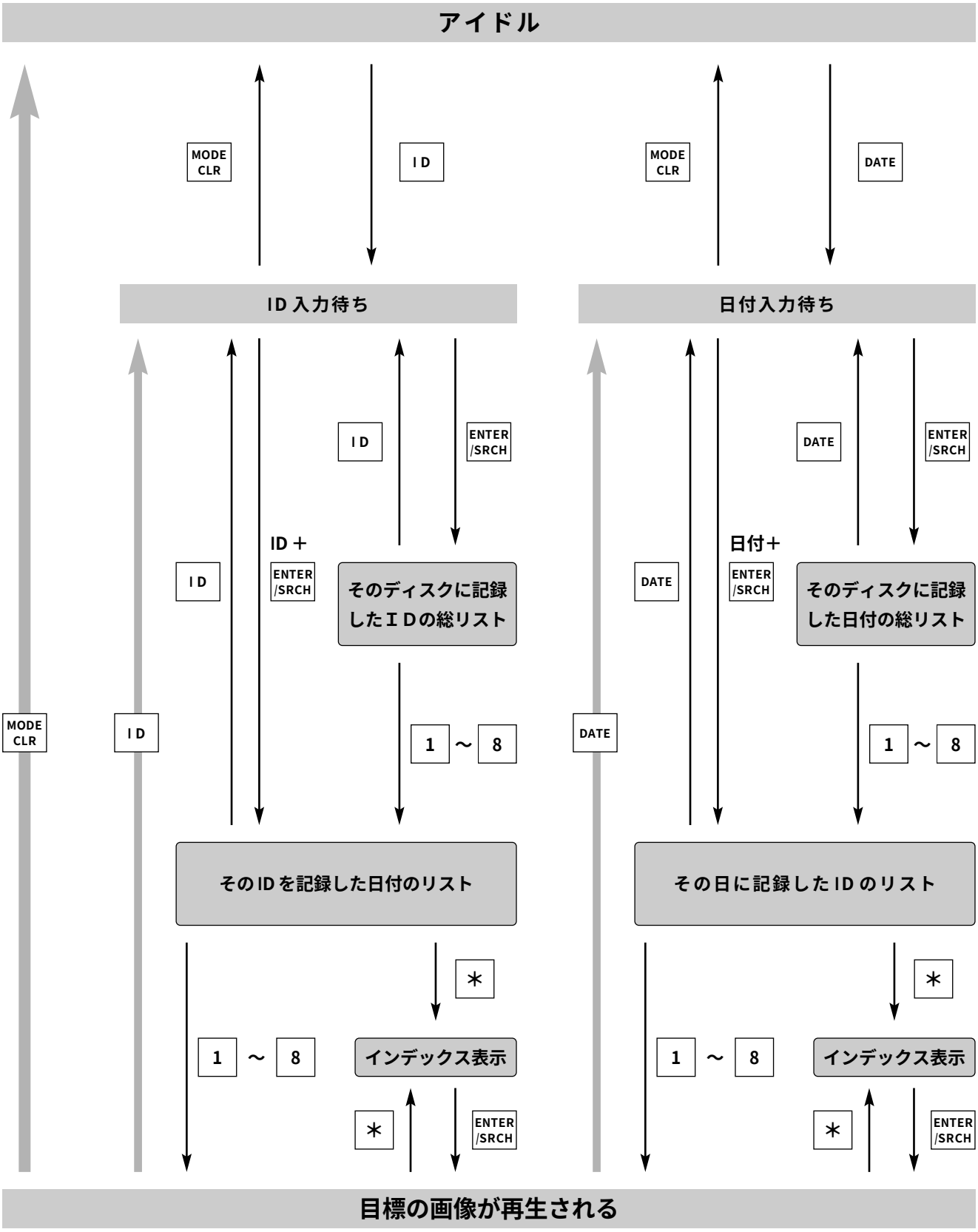
[CHAR] キーを押すとモニター画面の文字情報を消すことができます。アイドル・記録・再生のいずれのときでも可能です。

6. 再生する

この章では再生の手順を説明します。
再生するにはまずサーチの方法を選び、つぎにサーチ目標を入力します。すると希望の画像が再生され、◀ キーと ▶ キーでコマ送りすることができます。

再生操作のおおざっぱな流れを下図に示します。
サーチにはつぎの２種類の方法があります。

- ID サーチ
- 日付サーチ



ID サーチ

まず ID を指定し、つぎにその同じ ID で記録した画像のリストの中から希望の日付のものを選択してサーチします。

1. リモコンの表示が “ IDLE ” であることを確認する。

2. “ IDLE ” でなければ [MODE CLR] キーを押す。

3. [ID] キーを押す。

リモコンの表示が下のように変わります。

```
PLAY BACK
ID : _
```

4. 英数字キーで ID を入力する。

5. [ENTER /SRCH] キーを押す。

指定した ID の画像を記録した日付が、古い順にモニターにリストされます。

```
DATE LIST     (ID)
1. 00-07-09     4
```

記録枚数

```
  ID TEAC1234    1/1
→ 1. 00-07-09    4
  2. 00-07-10    3
  3. 00-07-11    2
```

行番号

●同一の日に同じ ID で複数の検査をしたときは、それらの合計の枚数が表示されます。

6. 英数字キーで希望の日付の行番号を入力する。

または▼／▲キーを押して画面内の→印を上下に移動し、希望の行で ENTER キーを押します。

希望の日付ブロックの先頭の画像が再生されます。

```
PB    00-07-11
ID : TEAC1234 -   01
```

追番

検査番号

```
ID TEAC1234          1
00-07-11 13:46     00001
```

追番

■ ＩＤがわからないときは

サーチしたいが、ＩＤがわからないというときには、そのディスクに記録したＩＤをすべてリストすることができます。そこからＩＤを選択すると、そのＩＤで記録した日付のリストを表示できます。

●この機能はつぎの機種で記録したディスクでは使えません。
MV-200 ／ MV-250 ／ MV-50 ／ MV-50M ／ MV-55M、MV-65 ／ MV-70 ／ MV-71

1. 左の手順 **4** でＩＤを入力せずに [ENTER /SRCH] キーを押すと、すべてのＩＤが新しい順にモニターにリストされます。

```
ID LIST        (ALL)
1. TEAC1234
```

```
  ID LIST          1/1
→ 1. TEAC1234
  2. ABCD5678
  3. EFGH9012
  4. IJKL3456
  5. MNOP7890
```

2. 再生したいＩＤの行番号を入力すると（または▼／▲キーを押して画面内の→印を上下に移動し、希望の行で ENTER キーを押すと）そのＩＤで記録した日付が、古い順にモニターにリストされます。

3. 左の手順 **6** と同様に日付を選択すると、希望の日付ブロックの先頭の画像が再生されます。

参考

●ID を入力する時、すでに ID が表示されていることがあります。これは一度入力した ID をリモコンが記憶しているからです。その ID の画像を再生したいときはそのままにしてください。別の ID を入力したいときは CE キーを押すと表示されている ID をクリアできます。

●画面に一度にリストできるのは８行までです。９行以上あるときはモニター右上の表示が「1/3」のようになり、リストが複数のページにわたることを示します。このときは ▶ キーを押すと次ページのリストに切り換わります。 ◀ キーを押すと前ページに戻ります。

日付サーチ

まず画像の記録日を指定し、つぎにその日に記録した画像のIDのリストの中から希望のIDを選択してサーチします。

1. リモコンの表示が“IDLE”であることを確認する。

2. “IDLE”でなければ MODE CLR キーを押す。

3. DATE キーを押す。

リモコンの表示が下のように変わります。

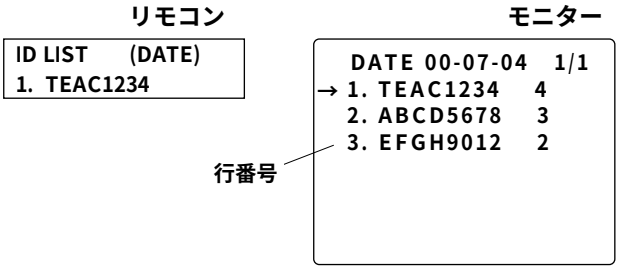
```
PLAY BACK
DATE : YY-MM-DD
```

4. 英数字キーで年月日を入力する。

希望の画像を記録した日付を年（西暦下2けた）→月→日の順に入力してください。

5. ENTER /SRCH キーを押す。

その日に記録した画像のIDが、古い順にモニターにリストされます。



●同一の日に同じIDで複数の検査をしたときは、それらの合計の枚数が表示されます。

6. 英数字キーで希望のIDの行番号を入力する。

または▼／▲キーを押して画面内の→印を上下に移動し、希望の行でENTERキーを押します。

希望の日付ブロックの先頭の画像が再生されます。

参考

●一度に表示できるIDは最大８つまでです。９つ以上あるときはモニター右上の表示が「1/3」のようになり、リストが複数のページにわたることを示します。このときは ▶ キーを押すと次ページのリストに切り換わります。 ◀ キーを押すと前ページに戻ります。

■ 日付がわからないときは

サーチしたいが、いつ、どんな画像をとったかがわからないというときには、そのディスクに記録した日付をすべてリストすることができます。そこから日付を選択すると、その日に記録したIDのリストを表示できます。

1. 左の手順4で年月日を入力せずに ENTER /SRCH キーを押すと、すべての日付が新しい順にモニターにリストされます。

```
DATE LIST (ALL)
1. 00-07-11
```

```
DATE LIST 1/1
→ 1. 00-07-11 13
2. 00-07-10 30
3. 00-07-09 21
4. 00-07-08 15
5. 00-07-07 23
```

2. 再生したい日付の行番号を入力すると（または▼／▲キーを押して画面内の→印を上下に移動し、希望の行でENTERキーを押すと）その日に記録した画像のIDが、新しい順にモニターにリストされます。

3. 左の手順6と同様にIDを選択すると、希望の日付ブロックの先頭の画像が再生されます。

インデックス再生

モニター画面に一度に16枚の画像を表示して、その中から拡大表示したい画像を選択することができます。

1. 日付／IDを選ぶ

希望の行に→印を合わせ、[＊]を押す。

「指定したIDを記録した日付のリスト」または「指定した日に記録したIDのリスト」の画面で▼または▲キーを押して画面内の→印を上下に移動し、再生したい行を選択して、＊キーを押します。
16枚の画像が一度にモニターに表示されます。

《リスト表示》

```
  ID TEAC1234     1/1
→ 1. 00-07-04   18
  2. 00-07-10   22
  3. 00-07-11   21
```

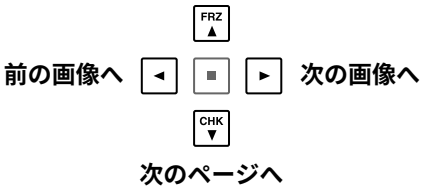
指定したIDを記録した日付のリスト

```
  DATE 00-07-04   1/1
→ 1. TEAC1234   21
  2. ABCD5678   35
  3. EFGH9012   28
```

指定した日に記録したIDのリスト

2. 画像を選ぶ

画面の中の＊マークを移動する。



《16分割表示》

＊01	02	03	04
05	06	07	08
09	10	11	12
13	14	15	16

追番

リモコン

```
INDEX
01.     00001
```

追番

16分割の中で何番目の画像かを示します。

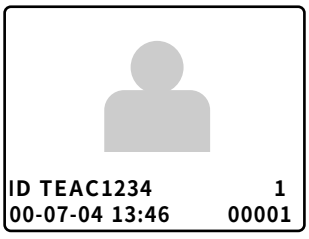
● 追番17以降の画面で16分割の左上に＊マークがあるときに◀キーを押すと、前のページの左上の画像に戻ります。

3. 画像を拡大する

[ENTER /SRCH]を押す。

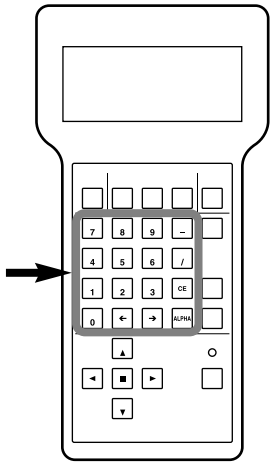
● 拡大してからふたたび＊キーを押すと、その画像を含む16分割表示に戻ります。（例：追番20なら17～32の画面に、追番40なら33～48の画面に戻ります。）

《拡大表示》



ワンポイント

下図の16コのキーで分割画像を選べます。（7のキーが左上の画像、ALPHAキーが右下の画像に対応）



画像をコマ送りする

サーチした画像がモニターに出ると、◀ キーと ▶ キーでコマ送りすることができます。

■ 記録した順に１枚ずつコマ送りする

つぎの画像を再生するには→ ▶ キーを押す。

前の画像に戻るには→ ◀ キーを押す。

■ 記録順に自動的にコマ送りする

記録順に自動的に送る→ ▶ キーを約２秒押す。

逆の順に自動的に送る→ ◀ キーを約２秒押す。

自動コマ送りを止める→ ■ キーを押す。

●ID サーチの場合は、上の２つの操作をしてもサーチした ID 以外の画像を再生することはできません。日付サーチの場合は上の操作で、その日に記録した画像が ID の範囲をこえて記録順に送られます。

■ 日付を飛び越える

日付サーチをしてから上記の操作をすると、その日付の最後の（最初の）画像で止まります。（**ID サーチ**の場合は日付を越えて同じ ID の画像をコマ送りすることができます。）このとき日付を飛び越えるにはつぎの操作をしてください。

最後の画像からつぎの日付の先頭に飛び越える→

▶ キーを２回すばやく押す。

最初の画像から前の日付の末尾に飛び越える→

◀ キーを２回すばやく押す。

参考

■ 自動コマ送りの速さを変更する。

左に説明した自動コマ送りの、画像１枚あたりの再生時間を秒単位で設定することができます。設定できる時間は０～99 秒です。０秒に設定すると本機に可能なかぎり速くコマ送りします。

設定はアイドルのときと再生中に変更することができます。アイドル時の設定はメモリに記憶され、電源を切っても保持されます。再生中の設定は電源を切るとメモリから失われます。つぎに電源を入れたときはアイドル時の設定に戻ります。

● アイドルのとき

1. アイドル状態で FNC キーを押す。

（設定を中止するには FNC キーを押します。）

2. 2 キーを押す。

リモコンの表示が下のように変わります。

```
Interval :      00sec
ENT : set / memorize
```

3. 英数字キーで秒数を入力する。

画像１枚あたりの再生時間（秒）を入力します。

4. ENTER /SRCH キーを押す。

設定が終わり、ファンクションメニューに戻ります。

5. FNC キーを押す。

アイドルに戻ります。

● 再生中

再生中とはリモコン画面の左上に “ PB ” が表示されているときです。

1. 再生中に FNC キーを押す。

（設定を中止するには FNC キーを押します。）

2. 1 キーを押す。

3. 英数字キーで秒数を入力する。

4. ENTER /SRCH キーを押す。

設定が終わり、ファンクションメニューに戻ります。

5. FNC キーを押す。

再生状態に戻ります。

動画の１フレームを止めて見る

録画準備中に動画の１コマを静止させることができます。

1. 録画準備状態で [FRZ ▲] キーを押す。

押した瞬間に動画が静止します。
リモコンの表示は下のように変わります。

```
REC STDBY          1
ID : TEAC123456 -02
```

↓

```
REC STDBY [FRZ]  1
ID : TEAC123456 -02
```

● 録画準備に戻るには →

もういちど [FRZ ▲] キーを押す。

● 止めた画像を記録するには→ [REC] キーを押す。

この操作をすると自動的に録画準備に戻ります。

直前にとった画像を見る

録画準備中に、直前にとった画像を確認することができます。録画準備にしてから１枚も記録してないときにはこの操作はできません。

1. 録画準備状態で [CHK ▼] キーを押す。

直前にとった画像が再生されます。
リモコンの表示は下のように変わります。

```
REC STDBY          1
ID : TEAC123456 -02
```

↓

```
PB       00-11-30
ID : TEAC123456 -02
```

● このとき [REC] キーを押しても記録できません。

● さらに前の画像を見るには→ [◀] キーを押す。

押すたびに１つずつ前の画像が再生されます。
ただし録画準備にしてから記録した画像に限ります。

● 録画準備に戻るには →

もういちど [CHK ▼] キーを押す。

圧縮モードを切り換える

録画準備中に圧縮モードを切り換えることができます。この設定は電源を切るとメモリから失われます。つぎに電源を入れたときはアイドル時の設定（p. 17）に戻ります。

1. 録画準備状態で FNC キーを押す。

リモコンの表示が下のように変わります。

```
1 : CS setting
2 : Input select
```

（設定を中止するには FNC キーを押します。）

2. 1 キーを押す。

リモコンの表示が下のように変わります。

```
              CS = 1
ENT : set
```

（CS ： Capacity Select の略）

3. 0 ／ 1 ／ 2 キーを押す。

希望するモードに対応する数字を入力します。

MODE スイッチの４番が

OFF のとき		ON のとき	
大容量	：0	標準	：0
標準	：1	準高画質	：1
準高画質	：2	高画質	：2

4. ENTER /SRCH キーを押す。

設定が終わり、録画準備に戻ります。

入力信号を切り換える

録画準備中に入力信号を切り換えることができます。この設定は電源を切るとメモリから失われます。つぎに電源を入れたときは本体リアパネルの MODE スイッチ 1 番の設定になります。

1. 録画準備状態で FNC キーを押す。

リモコンの表示が下のように変わります。

```
1 : CS setting
2 : Input select
```

（設定を中止するには FNC キーを押します。）

2. 2 キーを押す。

リモコンの表示が下のように変わります。

```
1 : RGB          [0]
0 : Video   ENT : set
```

3. 0 ／ 1 キーを押す。

希望する入力信号に対応する数字を入力します。

VIDEO または S-VIDEO ：0
RGB ：1

4. ENTER /SRCH キーを押す。

設定が終わり、録画準備に戻ります。

再生中の画像を削除する

再生中の画像をディスクから削除することができます。再生中とはリモコン画面の左上に“ PB ”が表示されているときです。

1. 再生中に [FNC] キーを押す。

（削除を中止するには [FNC] キーを押します。）

2. [3] キーを押す。

リモコンの表示が下のように変わります。

```
ERASE
      ENT : DELETE
```

（削除を中止するには [FNC] キーを押します。）

3. [ENTER /SRCH] キーを押す。

表示されていた画像が削除され、つぎの画像が表示されます。
つづけて [ENTER /SRCH] キーを押すとつぎの画像も削除されます。

4. [FNC] キーを 2 回押す。

再生状態に戻ります。

●録画準備中に [CHK ▼] キーを押して、直前にとった画像を確認している時も上記の操作でその画像を削除することができます。

再生中の画像の ID を変更する

再生中の画像の ID を変更することができます。再生中とはリモコン画面の左上に“ PB ”が表示されているときです。

●ID を変更すると、その ID ブロック内のすべての画像の ID が変わります。

1. 再生中に [FNC] キーを押す。

（変更を中止するには [FNC] キーを押します。）

2. [2] キーを押す。

リモコンの表示が下のように変わります。

```
ENT : rename ID
ID : TEAC1234
```

3. 英数字キーで ID を入力する。

4. [ENTER /SRCH] キーを押す。

5. [FNC] キーを 2 回押す。

再生状態に戻ります。

9. 知っていると便利です

ディスクにIDをつける

ディスクを識別するためのIDをつけることができます。ディスクIDは6けたの英数字で入力します。

1. アイドル状態で FNC キーを押す。

（設定を中止するには FNC キーを押します。）

2. 3 キーを押す。

リモコンの表示が下のように変わります。

```
Disk ID : _ - - - - -
ENT : set
```

3. 英数字キーでIDを入力する。

6けた以内の英数字を入力してください。

4. ENTER /SRCH キーを押す。

設定が終わり、アイドルに戻ります。

●フォーマット後のディスクIDの初期値は「------」です。
●同じ操作で、一度つけたIDを変更することもできます。

ディスクを消去する（再フォーマット）

容量いっぱいになったディスクを消去し、ふたたび記録できるようにします。

●ディスク内のすべての画像が消えます。ご注意ください。

1. アイドル状態で FNC キーを押す。

（フォーマットを中止するには FNC キーを押します。）

2. 4 キーを押す。

リモコンの表示が下のように変わります。

```
INSERT NEW DISK
REC : start
```

（フォーマットを中止するには FNC キーを押します。）

3. REC キーを２秒間押す。

フォーマットが始まります。
リモコンにフォーマットの進行が表示されます。

リモコン

```
FORMATTING     0%
```

モニター

```
FORMAT
```

フォーマットが終わると自動的にアイドルに戻ります。

内蔵時計を修正する

内蔵している時計を修正します。

1. アイドル状態で [FNC] キーを押す。

（修正を中止するには [FNC] キーを押します。）

2. [5] キーを押す。

内蔵時計の日付と時刻がリモコンに表示されます。

```
2000-07-04   12:30
ENT : set
```

3. 英数字キーで日付と時刻を入力する。

●西暦は 1980 ～ 2079 の範囲で設定できます。下位２けたを入力すると上位２けたは自動的に決まります。

●カーソルを移動するには [→] ／ [←] キーを押します。

4. [ENTER /SRCH] キーを押す。

日付と時刻が入力した値で修正されます。
ありえない値（32 日、25 時など）を入力したときは受け付けられず、入力待ち状態に戻ります。

5. [MODE CLR] キーを押す。

アイドルに戻ります。

リモコン液晶のコントラストを調整する

リモコンの液晶画面のコントラストを調整します。

● 工場出荷時は最も濃く設定してあります。
● この設定は電源を切っても保持されます。

1. アイドル状態で [FNC] キーを押す。

（調整を中止するには [FNC] キーを押します。）

2. [6] キーを押す。

リモコンの表示が下のように変わります。

```
◄, ► : adjust
ENT : set / memorize
```

3. [◄] ／ [►] キーで調整する。

► キーで表示が濃くなります。

◄ キーで表示がうすくなります。

4. [ENTER /SRCH] キーを押す。

設定した濃さがメモリに記憶されます。
リモコンの表示はファンクションメニューになります。

5. [MODE CLR] キーを押す。

アイドルに戻ります。

リモコンのブザーを止める

リモコンのキーを押したときの「ピッ」という音を止めることができます。

● この設定は電源を切っても保持されます。

1. アイドル状態で [FNC] キーを押す。

（設定を中止するには [FNC] キーを押します。）

2. [0] キーを押す。

3. [C D 1] キーを押す。

リモコンの表示が下のように変わります。

```
C) 1 : ON   0 : OFF [1]
ENT : set / memorize
```

4. [0] キーを押す。

5. [ENTER /SRCH] キーを押す。

設定がメモリに記憶されます。

6. [MODE CLR] キーを押す。

アイドルに戻ります。

●ブザーを鳴らす設定に戻すには手順 **4** で [1] キーを押します。

ソフトウエアのバージョンを知る

リモコンと本体のソフトウエアのバージョンを確かめることができます。

1. アイドル状態で [FNC] キーを押す。

2. [0] キーを押す。

3. [G H 3] キーを押す。

リモコンにバージョンが約 2 秒間 表示され、
自動的にファンクションメニューに戻ります。

```
VS-420 : Ver V1.05
       : Ver C2.56
```

4. [MODE CLR] キーを押す。

アイドルに戻ります。

アイドル時に入力画像を映す

アイドル時に本機からモニターに出力される文字情報を消し、そのかわりに入力画像をモニターに映すように設定することができます。

●この設定は本体リアパネルの MODE スイッチ 3 番を ON にしたときだけ有効です。

●この設定は電源を切っても保持されます。

1. アイドル状態で [FNC] キーを押す。

（設定を中止するには [FNC] キーを押します。）

2. [0] キーを押す。

3. [E F 2] キーを押す。

リモコンの表示が下のように変わります。

```
E) 1 : ON   0 : OFF [1]
ENT : set / memorize
```

1 ： ON　：文字情報を表示する。
0 ： OFF ：文字情報を消し、入力画像を映す。

4. [0] キーを押す。

5. [ENTER /SRCH] キーを押す。

設定がメモリに記憶されます。

6. [MODE CLR] キーを押す。

アイドルに戻ります。

●文字情報を消すように設定にしても、[CHAR] キーを押せば文字情報を表示することができます。

●文字情報を表示する設定に戻すには手順 **4** で [1] キーを押します。

10. メンテナンスと保証

点検のすすめ

毎日の使用前に点検を行ってください。故障の早期発見に役立ち、トラブルを未然に防ぎます。

点検項目

- ●電源ケーブルは正しく接続されていますか？
- ●アース線は正しく接続されていますか？
- ●リモートコントロールユニットは正しく接続されていますか？
- ●各種コネクタは正しく接続されていますか？（特に周辺装置を使用する場合）

●装置の機能保持、安全性の向上のために定期的に点検を受けることをおすすめします。定期点検を含む各種の保守点検・保守契約などについては、最寄りの弊社営業所または弊社サービス部門にご相談ください。

ディスクとレンズのクリーニング

長期間使用するとディスクやレンズの表面にホコリが付着し、それが原因で装置が誤動作することがあります。これを防止するために別売のクリーニングキットでディスクとレンズを清掃してください。クリーニングの周期は使用環境によりますが、約６ヶ月に１回を目安にしてください。

クリーニングの方法についてはクリーニングキットに付属の説明書をお読みください。

⚠ 注 意

- ●ディスクの清掃には必ず指定のクリーニングキット（TZ-381）をご使用ください。
- ●レンズの清掃には必ず指定のレンズクリーナ（0240470）をご使用ください。

故障かなと思ったら

つぎのような場合には修理をご依頼になる前に、もう一度チェックしてください。

【電源が入らない】

電源ケーブルの接続を確認してください。（コンセントから抜けていないか、コンセントに正しく接続されているかなど）

【電源は入るが画像が何も出ない】

本体リアパネルのコネクタが抜けていないか、使用しているケーブルが断線していないかを確認してください。

【リモートコントロールで操作できない】

リモコンケーブルのコネクタが正しく接続されているかを確認してください。

【画像のコントラストが明る過ぎる、または暗過ぎる】

本体リアパネルのターミネータスイッチが正しく設定されているかを確認してください。または出力レベル調整つまみをセンタークリック位置に戻し忘れていないかを確認してください。

エラー（ERROR）表示が出たら

モニターおよびリモコンにエラーメッセージが表示されたときは、つぎのように処置してください。

REC ERROR

記録時にディスクまたは本装置に異常があったときにモニターおよびリモコンに表示（リモコン側は２秒間のみ）され、ブザーが鳴ります。

処置：ディスクとレンズのクリーニングをしてください。

SYNC ERROR

録画準備中または記録時に入力信号の同期信号が検出できない場合に、モニターおよびリモコンに表示（リモコン側は２秒間のみ）され、ブザーが鳴ります。

処置：入力信号が正しく接続されているか確認してください。

SEARCH ERROR

サーチ動作またはコマ送りにより、別の画像を再生しようとした際に、データが正しく読み取れなかった場合に、モニターおよびリモコンに表示（リモコン側は２秒間のみ）され、ブザーが鳴ります。

処置：ディスクとレンズのクリーニングをしてください。

DISK ERROR

ディスク情報が正しく読み取れなかったときにモニターに表示されます。（リモコンの表示は、「DISK UNSUPPORTED OR UNFORMATTED」）

処置：ディスクとレンズのクリーニングをしてください。

MO ERROR／SCSI ERROR

ディスクドライブまたは周辺回路に異常が発生したときにモニターに表示されます。このエラーが発生すると操作ができなくなることがあります。

処置：電源を入れ直してみてください。

処置しても症状が改善しなかったり通常の使用状態とは異なる動作が生じた場合は、最寄りの弊社営業所または弊社サービス部門へご連絡ください。

保証について

●本装置の保証期間は、購入日から１年間です。

●次のような場合には、保証期間中であっても有償修理となりますのであらかじめ了承ください。

（1）誤使用による故障、又は損傷
（2）弊社、又は弊社の指定のサービスマン以外による改造、及び修理による故障、又は損傷
（3）納品後の落下、輸送などによる故障、又は損傷
（4）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障、又は損傷
（5）電源、設置環境条件などの、本製品の使用条件を逸脱した外部要因による故障、又は損傷
（6）弊社、及び弊社指定の代理店以外から購入された場合の故障、又は損傷
（7）弊社指定以外のディスクを使用した場合の装置の故障、又は損傷

●保証期間終了後のアフターサービスについては、有償にてお受け致しますので最寄りの弊社営業所または弊社サービス部門にご相談ください。

●弊社指定以外のディスクを使用した場合のデータの損傷につきましては弊社では責任を負いかねますのでご了承ください。

指定ディスク：
ティアック製　OM-640／OM-230CF／OM-128CF
三菱化学製　640MB／230MB／128MB タイプ

●本装置を運用した結果、及びデータに基づく二次的な損害につきましては、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。

●誤操作や突発的な事故などによる本装置に記憶されたデータの消去につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

仕 様

■ 一般仕様

使用ディスク ：3.5 インチ光磁気ディスク
光源 ：半導体レーザ
動作時間及び記録枚数（640MB の場合）：

圧縮モード	平均動作時間（秒）		記録枚数（枚）	圧縮率
	記録	再生		
大容量	約 0.9	約 0.5	約 10,000	約 1/20
標準	約 1.0	約 0.6	約 5,000	約 1/10
準高画質	約 1.4	約 0.6	約 2,500	約 1/5
高画質	約 2.0	約 1.0	約 1,500	約 1/3

記録枚数は、弊社評価画像による
圧縮モードはリモートコントロールユニット（VS-420）で設定するキャパセル値による

制御 ：付属リモートコントロールユニット VS-420 による制御
EIA RS-232C/JIS C6361 および EIA RS-422A に準拠するコンピュータ制御
動作姿勢 ：水平
電源 ：AC100 V ± 10% 50/60 Hz 54 VA
動作温湿度範囲：5 ～ 35˚C 30 ～ 80%RH（非結露）
保存温湿度範囲：–20 ～ 60˚C 30 ～ 80%RH（非結露）
外形寸法
本体 ：約 215W × 95H × 283.6D（mm）
リモコン ：約 93W × 39H × 181D（mm）
質量（本体） ：約 3.4 kg

■ ビデオ仕様

記録信号 ：30 フレーム/秒 525 ライン
（NTSC 準拠テレビジョン信号）
映像入力
コンポジット ：1.0 Vpp 75 Ω終端
S-ビデオ （Y） ：1.0 Vpp 75 Ω終端
（C） ：0.286 Vpp 75 Ω終端
（カラーバースト）
RGB R.G.B ：0.714 Vpp 75 Ω終端
HD,VD ：TTL レベル [負極性]
コンポジットシンク ：0.3 Vpp ～ 4 Vpp 75 Ω終端
映像出力
コンポジット ：1.0 Vpp 75 Ω終端(*)
S-ビデオ （Y） ：1.0 Vpp 75 Ω終端(*)
（C） ：0.286 Vpp 75 Ω終端(*)
（カラーバースト）
RGB R.G.B ：0.714 Vpp 75 Ω終端(*)
HD,VD ：TTL レベル [負極性]
コンポジットシンク ：4 Vpp 75 Ω終端
(*)可変範囲：映像レベルに対して ± 10 %
コネクタ ：BNC（コンポジット入出力）
S コネクタ（S-ビデオ入出力）
D-Sub 15 ピン（RGB 入出力）
[ミニチュア型]
周波数特性 ：1 MHz ～ 4 MHz ± 2 dB（RGB）
SN 比 ：48 dB 以上
標本化周波数 ：12.27 MHz
量子化ビット数 ：8 ビット/サンプル
圧縮/伸長方式 ：DCT+ ハフマン符号化

別 売 品

フットスイッチ	：RC-30P
MO ディスククリーニングキット	：TZ-381
クロス・クリーニング液補充用キット	：TZ-382
レンズクリーナ	：0240470
インタフェースマニュアル	：D001204-00A
3.5 インチ 640MB 光磁気ディスク	：OM-640

画像圧縮について

■ 画像の圧縮と伸長について

●本装置では画像データを圧縮して記録し、再生時に伸長することにより記録可能枚数を高めています。この圧縮・伸長方式としては国際標準方式であるJPEG方式を採用しています。

●この方式では、圧縮演算によって生成されるデータ量は入力画像に依存します。つまり、入力画像のきめ細かさや色あいにより圧縮データの量が異なるため、画像によって記録枚数が変化します。本装置では、必要に応じて高画質・準高画質・標準・大容量の４つの圧縮モードを選択できます。

●本装置では、記録信号として、通常のテレビ信号以外に計測機等から出力される信号も想定しているため、映像信号を内部の画像メモリーに取り込む際の有効画像範囲をテレビジョン規格より広く設定してあります。

■ 記録枚数について

仕様に記した記録枚数は、一定の圧縮モードで標準的な画像を記録し続けた場合の目安です。ただし実際の使われ方は圧縮モードも画像の内容も一定ではないと思われますので、モニターのディスク使用率の表示（“xx percent used”）にご注意ください。

弊社の他の機種との互換性

■ 他の機種で記録したディスクを本機で使うとき

記録に使用した機種	使用ディスク	追加記録	再生
SV-100 SV-100M	OM-128MF	×	×
MV-200	OM-128CF	×	△
MV-250	OM-128CF OM-230CF	×	△
MV-50 MV-50M MV-55M MV-65 MV-70 MV-71	OM-128CF OM-230CF	×	○
MV-60M	OM-128CF OM-230CF OM-640	○	○

○：可能　　×：不可能
△：非圧縮高画質モードの画像を除いて可能

●本機で記録したディスクを他の機種に入れても追加記録も再生もできません。

コネクタのピン配列

■ S-VIDEO INPUT/OUTPUT

端子番号	信号名
1	GND
2	GND
3	S-Y
4	S-C

■ ANALOG RGB INPUT/OUTPUT

端子番号	信 号 名	RGB ケーブルの色
1	R	赤
2	G	緑
3	B	青
4	- - -	
5	GND	
6	R-GND	
7	G-GND	
8	B-GND	
9	- - -	
10	GND	
11	- - -	
12	- - -	
13	H-SYNC	黄
14	Y-SYNC	茶
15	COMP-SYNC	白

■ SERIAL 2

端子番号	信号名
1	+5 V
2	- - -
3	TXD (–)
4	GND
5	RXD (–)
6	TXD (+)
7	GND
8	RXD (+)

●リモートコントロールユニット (VS-420) を接続するためのコネクタです。
●TXD (+) (–)、RXD (+) (–) の入出力仕様は EIA RS-422A に準拠しています。
●1 番ピンの +5 V は通常は結線しないでください。

■ SERIAL 1

端子番号	信号名	端子番号	信号名
1	GND	14	TRG IN
2	TXD	15	READY
3	RXD	16	- - -
4	RTS	17	- - -
5	CTS	18	TIMER
6	- - -	19	- - -
7	GND	20	DTR
8	- - -	21	- - -
9	+5 V	22	- - -
10	- - -	23	- - -
11	- - -	24	- - -
12	- - -	25	- - -
13	TRG OUT		

●TXD, RXD, RTS, CTS, DTR の入出力仕様は、EIA RS-232C に準拠しています。
●TRG OUT：ストロボ発行信号出力
（オープンコレクタ出力　Active Low）
●TRG IN：ストロボ同期録画入力
（＋ 5 V プルアップ入力　Active Low）
●READY：録画可能状態出力
（オープンコレクタ出力　Active Low）
●TIMER：経過時間制御
（＋ 5 V プルアップ入力　Active Low）
初期値は 0:00:00（0 時間 00 分 00 秒）。以後 Low レベルが入力されるたびにスタート→ストップ→リセットを繰り返します。経過時間は録画準備状態になるたびに初期値にクリアされます。

■ ユーザー登録のおすすめ ■

登録いただいたお客様には本製品のサポートについての情報や新製品などの情報をお知らせいたします。登録いただくにはつぎの３つの方法があります。

●オンライン登録

下記ウェブサイトにて登録してください。
(URL：http://www.teac.co.jp/ipd/)

●ファックスによる登録

右の「ユーザー登録記入欄」に必要事項を記入いただき、このページをコピーしてファックスしてください。(FAX：0422-53-9823)

●郵送による登録

右の「ユーザー登録記入欄」に必要事項を記入いただき、このページをコピーして郵送してください。

宛先：〒180-8550　東京都武蔵野市中町3-7-3
ティアック株式会社
情報通信ビジネスユニット
営業部CSグループ

〈ユーザー登録記入欄〉

型　名	ＭＶ－１８０
シリアル	No.
購入日	年　月　日
貴社名	
ご所属	
担当者名	
ご住所	〒
TEL	
FAX	
E-mail	
	E-mailによる情報提供　□ 希望しない
ご意見など	
取扱店	

ティアック株式会社 情報通信ビジネスユニット　営業部

製品に関するお問い合わせは･･･	MV機器営業グループ	〒180-8550　東京都武蔵野市中町3-7-3 TEL 0422-52-5010　FAX 0422-52-1390
	大阪営業所　〒564-0063	吹田市江坂町1-23-26 ニッセイ江坂セントラルビル2F TEL 06-6384-7384　FAX 06-6385-8849
技術的なお問い合わせは･･･	ＣＳグループ	TEL 0422-52-5095　FAX 0422-53-9823 受付時間　9:30～12:00／13:00～17:00（土・日・祝日を除く）
修理に関するお問い合わせは･･･	ティアック修理センター	〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-7
	情報サービス部	TEL 042-556-2335　FAX 042-556-2521
	同 大阪サービス課	TEL 06-6384-6272　FAX 06-6385-8849
TEAC情報機器関連ホームページ	http://www.teac.co.jp/ipd/	
E-mail	ipd-mv@ho.teac.co.jp	